



維持会奨学生からの感謝のメッセージ

維持会の支援が可能にしてくれた学業と部活動の両立、
社会に大きなインパクトを残す人材になりたい。

環境情報学部
3年

長野県出身

この度は、昨年度に引き続き、慶應義塾維持会奨学金に採用いただき誠にありがとうございます。入学して間もないころ、学業、部活動、アルバイトの両立に苦戦し、時に体調を崩すこともありましたが、昨年度は、維持会の皆様のおかげで、学業と部活動に加え、長期インターンや地域創生プロジェクトなどの課外活動にも取り組むことができました。

今学期から、ケニアの環境アートNPOであるOcean Soleの日本市場開拓の新規プロジェクトを立ち上げ、現地企業とコンタクトを取りながら、準備を進めています。同社は、ビーチに落ちているサンダルを回収し、カラフ

ルでアーティスティックな動物のオブジェやアクセサリーなどを製造しており、海洋汚染の解決、現地での雇用機会の創出、収益の一部を野生動物保護に回すなど、社会的価値の高い企業です。日本市場に適応した商品を共同開発し、日本での販売を通じて、社会問題に関する関心を深め、未だ欧米諸国に比べ低い日本の持続可能な消費に対する意識をInstallすることを目指します。

将来、慶應義塾の誇りを胸に社会に大きなインパクトを残せるような人材になれるよう今後も全力で学業、研究、部活動に精進して参ります。

維持会奨学生としての自覚を持ち、
将来は地元の地域活性化を通じて、社会に貢献したい。

理工学部1年

香川県出身

この度は、慶應義塾維持会奨学金に採用いただき誠にありがとうございます。家族に報告したところとても喜んでおり、維持会の方々に感謝をしておりました。二つ上の姉も上京し私立大学に進学しています。だから私も上京し私立大学に進学することは経済的にも厳しかったと思います。それにもかかわらず両親は一度も反対をすることなくずっと応援し続けてくれました。その両親の負担を少しでも減らすことができ、私もとても嬉しい限りです。維持会の奨学生であるという自覚を持ち、この環境で今勉強できていることは当たり前のことではないと思い日々感謝しながら勉学に励

んでいこうと思います。

私は理系の視点から見た地域モデルについて学びたいと思いこの大学に入学いたしました。公共交通機関の値段、本数、駅の場所などの最適な地域モデルの研究がしたいと思っています。このことは、買い物難民の減少、小売店の活性化、さらには流通機関の発展にも繋がっていくと考えています。そして将来は、東京の企業に勤め、東京の企業で学んだことを地元を持ち帰り地元の地域活性化に繋がる企業に勤めたいです。一人でも多くの方がここに住み続けたい、ここに住んで良かったと思える町を作り社会に貢献したいと考えております。